家庭醫學

此の嚴寒　弱い子供のSOS！

痩せた小兒が丸々と發育

日増しに吹き荒ぶ木枯の音は、身體の弱い乳幼兒から、お母さん方へ發するSOS（救助信號）とも聞くことが出來ます。殊に平常でも時々風邪をひき、ひけば直ぐに熱を出したり、のどが腫れたり、咳が出て仲々治らないといふ樣な

呼吸器型の虚弱兒

また、便通が多くは下痢がちで、ちよいと饐つた物を食べるとか、たべ過ぎるとか、ずつと小さい赤ちやんですとお乳を少し與へ過ぎると、すぐ下痢する、お腹が痛むと云ふ樣な胃腸型の虚弱兒。

さういふ弱い子供には、寒さと空氣の乾燥の甚しい、之からの季節が大敵ですから、親御さん達は特に注意して救護の方法を講じませんと、諦め切れない歎きの種を蒔く事になります。

冬の育兒法の眼目は、何と云つても寒さに對する注意、卽ち子供をして充分に寒さを凌ぎ、榮養を充實して、抵抗力を養ふ事の出來る樣にしてやる事です。

併し寒さを凌ぐと云つても、徒らに厚着をさせたり、暖かい室内ばかりで育てると、却て抵抗力を弱め、少しの寒さにも堪へられぬ樣になりますが、それかと云つて弱い乳幼兒では、青壯年の樣に鍛練も出來ませんから、要するに保護に過ぎず鍛練にも酷でない程度の注意を拂つて、自身の力で强健になる樣に導いてやる事です。

榮養の方から申しましても、冬は體溫の消失が大きく、多量のカロリーを必要としますが

胃腸型の虚弱兒

などでは、多食させる譯にまゐりません。又抵抗力を養ふにはカルシウム、A・B・D等のヴイタミンが必要ですが、之らは消化のよい食物中には滅多に含まれてゐませんから、食物以外のものからも榮養素を不足せぬ樣に補つてやる必要があります。

戸外の日光の下で、遊ばせる事は、此の意味から大變有効です。之は日光の作用で、體内にヴイタミンDが生成されるからであります。

同じ意味から、榮養劑はぜひ與へる樣にしたいものですが、在來の榮養劑は胃腸の負擔を顧みないで虚弱兒、殊に胃腸型の子供には

却つて有害な結果

を招く例もありましたが、榮養と育兒の會の若素（わかもと）は、呼吸器型、胃腸型、何れの子供にも無理を伴はずに、その體質を改善するといふ眼目に叶つてゐます。

この藥の特長は、先づ含有してゐる榮養素の種類から見ても、呼吸器の抵抗力を强めるヴイタミンA、D、胃腸の機能を昂めるヴイタミンB、インシユリン、一般乳幼兒の發育に密接の關係あるヒスチヂン、リヂン等のアミノ酸、カルシユウム其他の各種成分を殆ど網羅してゐますが、特に凡て生物が生存して行くに、一刻もなくてはならぬ、細胞から生成される微妙な酵素を各種に亘つて含み、それを補給して胃腸はじめ諸器官の機能を活潑ならしめるといふ獨特の效果もあるのです。

だから若素（わかもと）を服用させますと、呼吸器型の弱い子供は風邪などをひき難くなり、胃腸型の子供は胃腸が丈夫になつて便通もよく、食慾も進むといふ風で血色よく、身體も肥つて丈夫な發育を見るやうになります。

結核の微熱

結核の初期には、朝は平熱でも、午後から夕方にかけて毎日、七度一二分から五分位の微熱が出ますが若素（わかもと）の服用を續けてゐると、日々、次第に熱が下つて、終に微熱から救はれるといふ事は、よく經驗される所であります。

一體結核の熱は、結核菌の毒素によつて起る生理的反應で、普通の解熱劑でも熱は下らぬ事はありませんが、それは當然出るべき熱を一時抑へるだけの話で、結核菌その物には何等の痛痒をも與へないのです。然るに若素（わかもと）には何等解熱劑は含まれてゐないのに下熱するのですから、つまりそれだけ結核菌が減少し、本病の輕快した事を物語るわけです。

老人が暖かく冬を過すには

お年寄の方は、寒さを恐れる事が人一倍で、何とかして冬でも暖かに過せる法はないか――と苦心されますが、その方法は結局、外部からの保溫と、内部から寒さに對する抵抗力を充實すると云ふことの二通りに盡きませう。

溫暖　先づ保溫法から申しますと、時間と物質の餘裕があれば地方へ轉地するに越した事はありませんが、さうでない人は、寒くない程度に、着物或は夜具を用ひる事です。室内を溫かにして始終閉ぢ籠つてゐるのでは、却て抵抗力を弱め、少しの寒さにも堪へられなくなりますし、さうかと云つて年寄の冷水と云はれる樣に、痩我慢を張つて

薄著　したり、青壯年者のする樣な鍛練法を行つたりする事は失敗を招く因ですから、愼しむべきは云ふ迄もありません。

併しそれよりも大切な注意は、内部から抵抗力を充實して、積極的に寒さを凌ぐといふ事で、卽ち血液の循環を活潑にして、諸臟器の機能を昂め、全身の活力を旺盛にすることが何よりも肝要です。

全身の活力は、勿論榮養の調和によつて得られますが、冬は體溫の消失が大であるから、多量のカロリーを必要とする反面、運動する事が比較的少い事も關係して

胃腸　の機能が兎角く衰へ勝です。

老人は、若い人の樣に、食物から目的を達することが困難です。そこでお勸めしたいのは若素（わかもと）です。

この藥は御承知の通り、胃腸榮養といふモツトーを揭げてはゐますが、單なる胃腸藥や、榮養劑とは全く性質が違ひ、複雜な成分をもつヘーフエ藥中の特殊の微生物を製劑したもので、色々の成分の綜合した作用で、先づ胃腸の働きを組織細胞から丈夫にして、消化吸收の機能を昂めるのです。

それで、老人の方も、之を服用してゐると著るしく食慾がつき、食べた物がよく消化される一方若素（わかもと）中に含まれた脂肪、蛋白、無機物、ヴイタミン等、各種の榮養素が、食物の榮養を補ふので、榮養の增進には一層よい譯ですが、又老人に多い

便秘　を快く通ずる作用もこの藥の一大特長であります。

老人が便秘すると腸内容の腐敗醱酵した毒素が血液に侵入して、老衰を早め、動脈硬化を誘發する等の外にも、腸内糞便の壓迫により血行が障碍されて、手足や全身の冷感を釀しますが若素（わかもと）の胃腸細胞强化による自然的の便通作用は、かゝる害惡を救ひ、血行を旺盛にするのです。

併も單純な胃腸藥や、榮養劑ではないだけに

丈夫　にするのは胃腸のみに止まらず、全身各部の機能にも及びますから、その服用によつて手足の冷える事も防がれ、内部から熱力が充實し、寒中も左程苦にならぬといふ樣な身體になる事も敢て困難でありません。

若素（わかもと）は廿五日分一圓六十錢、八十三日分五圓の一日數錢に過ぎぬ廉價で、東京市芝公園大門際、榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇番）から特に頒布されて全國藥店でも取次してゐますが、何分にも賣行き盛んな有名藥で、販賣口錢が少いので、近頃は口錢の多い、ヘーフエ、酵母、イースト劑等の類似の名を冠した製劑を代用藥としてすゝめる藥店が追々にふえますが、效力は似てもつかぬ物が多く失望されますから必ず御注意下さい。

姙娠中の養生法で生兒は審査會で受賞

夫の胃腸病も同じ方法で恢復

（群馬）長塚君江

第六回赤ちやん審査會が高島屋で開かれまして、私の二女郁子が厄介になりました處、優良兒といふ表彰の名譽を頂きました（寫眞）私は生れてから體が弱く、榮養劑を何かと頂いたが（若素わかもと）が一番體に適したものか、服用後は丈夫になりまして、十二年目に今度の子供が生れました。

私が姙娠中は大串博士の診察を受けました處、母體や胎兒に榮養になる若素（わかもと）が一番宜しいとのお奨めで、それ以來若素（わかもと）宗となりました。お蔭で生れた子供は達者でお乳は充分ありますが、子供には毎日缺かさず若素（わかもと）を服ましてをります。

その爲に發育も非常によく、成長しまして、此の頃では子供からムマ〳〵と云ふて若素（わかもと）をねだる樣になりました。主人も時々胃腸を害しますが、食後若素（わかもと）を頂く樣になつてから、胃腸は非常によく、丈夫になつて喜んで居ります。（後略）

舊年末でもあるし餘り騷いで呉れな
警察が各區長さんを招き 區民鎭撫方を懇談

反消運動

滿洲國官吏の消費組合設立が昨年末突如發表されて滿一ヶ月、その間全滿の商人はやつ氣となつてこれが阻止に當り滿洲商工會議所聯合會、新京商店大會、全滿商工業者大會、店員大會等々と樂しい正月も暮以上の慌しさに送つて今や反消問題は社會問題とまで化せんとし漸く重大化せんとしてゐるので警察當局でも事態の推移に嚴密なる注意を拂つてゐるが時たま〳〵舊年末でもありこの際この問題について市民が騒ぐことは治安上からみても面白くないといふので新京署では廿五日市内の各區長を警察に招き區内の町民をよく慰撫されたいと懇談した

日本酒代金借り逃げ

朝日通朝鮮飲食店金光(三七)は昨年九月ごろから十二月の間新發屯安達街一〇七號中島商店から日本酒百九圓五十錢を仕入れ代金未拂のまゝ行方不明となつたので捜査方を願出た

吉田醫院副院長代理物色中

市内室町一ノ二吉田醫院では新春早々副院長として武岡貫氏が來任することゝなつてゐたが、同氏の都合で興安大路分院の新築落成まで延期となり、目下代理となる人物を物色中であると

大局觀に立つ相互の善處を
消費組合問題と軍部の意向

官吏消費組合問題をめぐる商店業者と組合側の對立は未だに解決の模樣なく憂慮されてゐるが、同問題に對する軍部の意向は次の如くである

日滿兩國が融和して建國事業に邁進するを要する際官吏と商人が抗爭をなすが如きは甚だ遺憾とするところで、宜しく兩者相互に大局的觀に立脚して善處すべきことを望んで止まない

吉林熱河兩船近く就航
四月から日滿間日發制實現

【東京國通】大阪商船では日滿間通商繁忙の將來に備へ毎日航海をなすの必要ありとの見地から、豫て長崎三菱造船所に注文し、「吉林」「熱河」兩船を建造中であつたところ吉林丸は來る二月十日大阪發より熱河丸は四月上旬より同航路に配船、これを從來の八隻と合せ、愈々四月より日滿連絡航路日發制を實現するに決定した

滿鐵社員慰安會

新京滿鐵社員會では三月上旬ごろ中央通り會館閉鎖社員慰安會を公會堂で開催當日は各希望箇所から素人劇を上演素人演藝大會を開くこれが準備のため各箇所から二名づゝ中央通り會館談話室に集合打合せをする

黄昏の三笠町に大膽な拳銃强盜
店員の機轉で遁走

舊歳末を控へ連夜に亘つて拳銃强盜出沒し市民を戰慄せしめてゐる—二十五日午後五時四十分ごろ三笠町三丁目二十三番地滿人雜貨商劉金泉方へ客を裝ふた拳銃强盜がビール一箱の値段を問合せながら突然懷中にしのばせてゐた拳銃を取出し店員に突付け金を出せと脅迫したが店員が金はないと云ひ主人の居室を指さし賊が室に向はんとしてゐるを見はからい戸外に飛出し强盜〳〵と連呼したので賊は一物をも得ず逃走した急報に接し新京署では直に非常召集を行ひ犯人捜査に努めたが逮捕するにいたらなかつた

舊暦の大晦日に滿語除夜放送
四放送局の計畫

全滿放送局では舊暦の大晦日に當る來る二月三日午後十時から新京、奉天、ハルビン、大連の四放送局が聯合して除夜特別放送を實施することゝなつた、同夜は十時半まで平常通りの放送を行ひ十時半から除夜放送プログラムに入ることゝなつてゐるが先づ十時半を合圖にハルビンから三十分間大晦日に因む**滿語**演藝放送が北滿に放送され、續いて新京奉天の順に各三十分間づゝの演藝放送を終り、元旦午前零時を期して大連をスタートに奉天、新京、ハルビンとすさまじい爆竹の音を背景に各地の除夜情景を語る實感放送が十分間づゝアンテナを通じて全國民に傳へられ同四十分**滿洲**放送プログラムにエポックを劃する第一回除夜放送は終りを告げることゝなつてゐる

廣路君入營

國務院統計處廣路喜八郎君は來月七日旭川第七師團に入營のため二十五日午後四時新京發列車で出發した、同君の原籍は旭川市

飜譯官の商法 "猪の味噌漬"!
敦化から全滿に賣出す

【敦化支局】敦化縣公署屬飜譯官林田源太郎氏は敦化切つての古參者の一人であるが今回城内西大街に林田洋行を開業亥歳にちなみ敦化の名物として「猪の味噌漬」を考案發賣することになり新年明けと共に大きな賣れゆきを見せてゐる、當の林田氏を縣公署に訪へば「こゝでは商賣のことはまつぴら〳〵」と拒絶しながらも新敦化名物「山の幸」の新發案に至る動機について左の如く語る

敦化の山のさちは何といつてもキジとイノシシでせう、そして兩者共萬人向きのたべかたは何といつてもみそ漬です、然しこのことは私が當地に參りました時即ち三年前からの心組みです

尚は右發賣特約店は譯賣店、森泰號、德丸洋行であるが漸次全滿各地の組合へも進出すると意氣込んでゐる

『青訓』がちかく青年學校になる
今年度の高等科卒業生はすぐ入所なさい

文部、陸軍兩省では從來の青年訓練所、補習學校を廢止し新に全國に青年學校を新設するやう審議中であるが略ぼ意見の一致をみた樣であり若し青年學校が設立されることになれば入學資格も高等小學卒業程度の滿十四歲以上の男女生になる、現在の青訓は滿十六歲であるから二年位は低下することになる、從つて今春からでも入所してゐると改正の時には規定年限に編入される特典があるから十六歲未滿のものも進んで青年訓練所に入所されたいと

入所者は早く申込め

新京青年訓練所では今春入所該當者(大正七年四月一日より翌八年三月三十一日まで出生の者)調査方を新京署、關東軍、關東局、關東憲兵隊、滿鐵各箇所にそれ〳〵依賴したなほ同訓練所では前記該當者の外昨年都合で入所出來なかつた者その他希望者は年下の者でも入所を歡迎するからこの際自發的に申込まれたいと

舊正を控へた城内の賑ひ

舊正を控へた城内は各商店ともラヂオに蓄音機に音樂入りで客を呼んでゐるが四馬路附近は芋を洗ふ樣な人混で身動きもならぬ、その中で聲高々と客を呼ぶ大道商人の呼び聲も樂土を謳ふが如きリズムをおびてゐる

寶塚劇場卅分余で全燒
損害なんと百萬圓

【寶塚國通】兵庫縣寶塚に在る寶塚劇場は廿五日午前八時頃出火、卅分餘にして四千人を收容する鐵筋コンクリート建物は殆んど全燒した、損害百萬圓、原因は漏電と觀られて居る

日本畫院の十二枚畫會

東京市淀橋區上落合二丁目六五五番地、日本畫院は東西兩畫壇に於ける文展、帝展二度以上入選し前途有望畫伯の研究集團として美術報國三十二ヶ年の歷史を有し國畫を海外に輸出して絕讚を博し、就中同院の獨特天下に誇ると稱せる十二枚畫會は紙本畫趣味普及の權威にして文展、帝展二度以上入選畫伯を基調として三度、四度、五度入選せる特選若くは推薦候補の紙本半折密畫を毎月一枚宛、二圓五十錢といふ壓倒的低廉無比の會費にて十二ヶ月間に亘つて紙本最高峰の玉版若くは專賣特許の麻紙に豪華を極めた密畫を配當し最後に尺巾絹本本格的密畫一枚を添附し正に時代の尖端を行く代表的畫會として白熱的の五百五十名を限定し臨時募入する筈、希望者は必ず本紙愛讀者の旨を記入し即刻申込めば委細の規定を無料送附すると

藝酌婦諸君は出歩いちゃいかん
但し午後五時から十二時迄
新京署の嚴いお達し

新京料理店組合の藝酌婦は午後五時から同十二時までは絕對にダンスホール、カフエーに出入することを組合の規定で禁じられてゐたが同規定もなんのその昨秋以來ダンスホール、カフエーに出入したる者又は泥醉姿で名と肩をくんで街をぶらついてゐる姐さんが多く風紀上面白くないので新京署保安係では更に取締方を組合に嚴達するとゝもに徹底的に取締ることになつた

滿洲チブス研究に更に大きな發見
前首都警察廳尾崎吉助氏が不撓・苦心の賜もの

所謂滿洲チブスに最近內地學界でも最も大きな研究題目として醫學者間の興味をそゝつてゐるが、こゝに前首都警察廳技佐尾崎吉助氏によつて**從來**の實驗的證明が自然界にもそのまゝ當てはまることが適確にされた、即ち滿洲チブスと發疹チブスはその病原は同じ滿洲チブスがその原種であるが鼠 蚤によつて人間にうつる場合は滿洲チブスであり、また人間の衣虱によつて傳はる場合は發疹チブスにかはるといふのが現在の學說であるところが事實虱の体內を通して發疹チブスに變るものとすれば滿洲のやうな虱の多い不潔な滿人家庭などでは當然發疹チブスが多くならなければならないが事實は全く反對で當新京では發疹チブスは殆んど見當らず**寧ろ**滿洲チブスが繁盛を極め昭和八年中の新京醫院外來患者のみでも百二十四名の多數に上つてゐるによつても明かである尾崎氏はこの點についてゞ蚤や虱を經たのみではなく性質が變るものではないといふ實驗的證明をそのまゝ自然界に當てはまるかどうかについて、汚染地から得た虱を一々研究のうへモルモット約四百頭に培養し得た結果は、その病原体には滿洲チブスと發疹チブスの中間の性質をもつものが多數あり、その症狀もまち〳〵であることが發見された、それは現在に於ける實驗的證明と全く符合するもので、これを臨床的に見れば**滿洲**チブス、發疹チブスおよびその中間に位するものの三種に分れるといふ結論を得るわけで學界に取つては一大發見であり、臨床上にも極めて貴重な資料を提供したものとして注目されてゐる

實に貴重な學界への貢獻
新京醫院 高橋博士談

右について滿洲チフスの最高權威である新京醫院病理科醫長高橋禎三郎博士は語る

餘り專門的になるので說明はむづかしいが要するに現在の定說たる實驗的證明がそのまゝ自然界に當てはまることが尾崎氏の研究によつて明かにされたわけで、臨床的には滿洲チフス、發疹チフスのほかになほその中間に位するものがあり、それによつて症狀も異つて來るわけで、吾々滿洲チフス研究者に取つても實に貴重な參考となるわけである

公會堂書記長 眞殿氏着任

財團法人新京記念公會堂書記長に決定した眞殿星鷹氏は二十五日單身來京打合せのうへ一旦大連に引返し正式着任の豫定

高崎荘次郎氏

新京倉庫運輸株式會社支配人高崎荘次郎氏は宿痾癒へず二十五日午前十一時十二分死去葬儀は二十六日午後二時市内曙町日蓮宗經王寺で執り行はれる

居住消息

▲山口秀夫氏(廣島縣)奉天から錦町三丁目第三錦ビルへ ▲岩崎周治氏(長崎縣)住吉町二丁目六番地二十號へ ▲嘉藤益雄氏(宮崎縣)大連から入船町廿三番地ノ二へ ▲佐賀定雄氏(富山縣)大連から錦町三丁目第三錦ビル五十一號室へ ▲有美邊氏(島根縣)奉天から同上二十九號室へ ▲寺岡半五郎氏(東京府)梅ケ枝町四丁目二十六番地へ

轉居

▲吉森美春氏三笠町から日本橋通り八十八番地創業館へ ▲平川榮氏梅ケ枝町から北安路市營住宅日本向乙七十六號手島方へ ▲小沼喜義氏中央通りから和泉町白山寮三百一號室へ

▲神本衛氏(入船町二丁目二十九番地)長女信子さん十五日出生 ▲山崎進氏(日本橋通り五十四番地)長女美智子さん二十日出生 ▲礪波卓氏(永樂町一丁目七番地)長女弘子さん十八日出生

鮮魚小賣相場 (廿五日)

品名	單價	單價
活鯛	三、一五	一、二〇
氷鯛	六二	四〇
チヌ鯛	五八	五二
アマ鯛	二〇	一三
小鯛	五八	一六
ブリ	四八	四〇
サハラ	六〇	
ス、キ	二二	
サバ	二三	二一
アヂ	三〇	二六
カレイ	一五	二二
ヒラメ	二五	二〇
コノシロ	二八	二五
キス	三〇	二五
イワシ	二〇	一六
マナカツオ	一〇〇	三二
ハゲ	七〇	
ムツ	二五	
赤貝	二五	一五
タコ	四五	四〇
カニ	二〇	
アナゴ	二〇	
貝柱	四二	
氷魚	一二	九
アワビ	七五	六〇
シマミ	六	
カマボコ	一〇五	四五
カニミ	五二	三二
ホタテ貝	一三	一一
赤生子	六〇	五〇
サケ	三五	
ニシン	二〇	
タラコ	三〇	二五
切身	相場	
マグロ	一一〇	三〇
ブリ	九五	七五
ヒラメ	六〇	二〇
大ビ	八〇	六〇

父荘次郎儀豫而病氣療養中ノ處藥石効ナク昨廿五日午前十一時十二分死去仕候間此段謹告仕候
追而本廿六日午後二時經王寺ニ於テ葬儀執行可仕候
昭和十年一月廿六日
女 高崎儀子
妻 高崎たけ
親戚 後藤與吉
總代 黑羽庄吉
阿川甲一
友人 箱田琢磨
總代 藤田興市郎
天野恒太郎
宇野常吉

當會社支配人高崎荘次郎儀豫而病氣療養中ノ處昨廿五日午前十一時十二分死去致候間此段謹告仕候
昭和十年一月廿六日
新京倉庫運輸株式會社

女人婆羅門（五十六）

（舞台上演・映画化）長田秀雄　西正世志畫

驚性散花（四）

日進は、喘ぎ喘ぎ、虹のやうな息を吐いた。

「賊は、その向ふの草の茂つて居るところがありますが——その草を分けて、右手の方へ往つた様子でございます」

「それぢや、私が、それを取返して來て上げませうから、まア和尚さん、少し待つておいでなさい」

日進は、驚いて引き止めた。

「それは危ないことでございます。なか〳〵容易ならん山賊でございますから」

蓮塔四郎は、前方の草むらを睨みつけた。

「いや、出家を裸にして布施物をとるといふのは憎い奴だ。——跡を追つて、取戻して來やう」

駈出さうとすると、日進が必死に——。

「あ、若し、——それよりは、どうぞ、私の繩を解いてやつて下さいまし」

「おう、それが先だつた」

四郎は、いゝ、くぬぎに、ぐる〳〵巻にされてゐる日進の繩を、解いてやつた。

腰や、膝小僧を痛さうに擦りながら、

「有難う存じます。おう寒い」

「なる程、裸の儘ぢや寒からう、一寸お待ちなさい。女の伴を見てくるから！」

下の細道へ、大股に驅け下つて

「お藤——その包みを」

手短に仔細を話して、包の中から、袷を取り出した。

それを持つて來て、

「裸では居られまい。何遍も水を潜つたものだが、是を進上しよう」

「有難う存じます」

和尚は、袷に兩手を通し、ぐる〳〵と細帶を締めた。

四郎は、持前の爭闘心が頭を擡げてくるのを、抑制しきれなくなつた。

「何としても、腹が癒えねえから山賊を退治して遣る——御出家、見物なら勝手だつ」

慌しく、四郎は、向ふの草むらの中へ突進して行つた。數丁も續いた草むらの中は、宛ながら闇黒だつた。——五六丁掻き分けて行くと、右手は、充と明るさを見せた平地だつた。

足音も忍ばせて、四郎は、様子をうかゞつた。

ぱち、ぱち——焚火らしい音がして、灰色の煙りがあがつてゐた。

（居るな！）

と、感じて、腰の短刀に手をやつた。

盗賊は、二人差向ひになつて、焚火しながら、獲得品を分配してゐるらしかつた。

「そこで、この法衣と珠數は、俺が貰つて置かう」

「手前は、法衣や珠數を取つて何にするんだ」

「あんまり探索が嚴しいから、坊主になつて、袈裟法衣で、胡麻化さうと思つてゐる」

「うふふふ——貴樣が、坊主になりや本當の生臭坊主、蓮坊主、乞食坊主、助平坊主、野原坊主、さまよひ坊主、盗人坊主だ」

「何にしても、三界無宿——未來後生の安樂を思へば、一錢の合力をたまへ——だ。ハヽヽ、、お前なんか、たまにや念佛を唱へて、罪障消滅をやらぬと、浮かばれねえぞ」

「何を洒落たことを——罪障消滅をいくらしたつて、今の今、出家を半殺しの目に遇はしておきながら、何の役に立つ！」

「なある。——それもさうだな、坊主殺さば七代祟る。着物殺さば冬たゝる。——こいつあ、浮ばれねえ」

笑ひあつて居ると、風の無いのに、草むらが、ざわめいた。

「おや？」

二人は、目を瞠つた。

大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　一月二十六日

本紙定價　一部五錢　一ケ月一圓
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社　電話三二二五・三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　永越內之介

獨石口の宋哲元軍
挑戰的行動の意なし
永見部隊の一部宋軍を看視
谷部隊宣撫工作

關東軍司令部發表＝大灘方面の宋哲元軍は永見部隊の果斷適切な作戰により國境線外に驅逐され、沽源、獨石口の宋哲元軍も再び我に挑戰的行動に出るの意志無きものゝ如し

永見部隊は一部を以て紅泥灘（長城東側東柵子北方約二キロ）南側高地を占領して獨石口方面の宋哲元軍を看視し、主力を以て小廠附近に集結し行動の自由を保持しあり、又南圍子（大灘南方約五キロ）にある谷部隊は滿洲國境內恢復地區の宣撫並に治安維持工作に努めつゝあり

支那軍全線後退

【承德國通】二十五日午後國境方面を視察せる飛行將校の齎らした情報に依れば二十五日朝以來支那軍隊は全線に亘り後退し、同軍最前線の根據地たる獨石口にも殆んど人影を認めず

林陸相參內
眞相を委曲奏上

【東京國通】林陸相は廿五日午後の院內閣議に於て關東軍と宋哲元軍の衝突事件に關し地圖を展げてその衝突原因並にその戰況經過につき詳細なる報告を爲し、之に對する關東軍よりの報告並に軍の方針に關しても詳細說明、各閣僚の諒解を求めるところあつたが、林陸相は次で午後一時二十分參內　天皇陛下に拜謁仰付けられ、今回勃發した永見部隊と宋哲元軍との衝突事件の眞相につき委曲奏上、種々御下問に奉答同四十分退下した

事態不擴大を　何應欽言明

二十五日午前何應欽氏は高橋駐平武官を訪ね種々協議するところあつたが同武官は何氏に對し

宋軍において滿洲國領內に侵入せず且又今後わが軍に對し挑戰せざる限りはもとよりわが軍は戰鬪繼續の意志なきため平和的交涉による解決を望む故貴下より宋哲完軍に對しその方針をもつて事を處理するやう計られたし

と提言した、これに對し何應欽は

貴意に隨つて然るべく計らふ

と答へた、よつて事態はこれ以上擴大せざるものと思はる

河北省政府人を派し　攻擊中止嘆願

皇軍の行動開始に狼狽した河北省政府は松井（駐在張家口）武官の下に人を派し攻擊中止方を願ひ出たが、松井武官はこれに對し

宋軍が關東軍の主旨に隨ひ國境外に即時撤退し、これ以上の逆襲をなさざる限り關東軍は事態を擴大の意志はない

と應へた、これに對し支那側は即時その命令の徹底を計り戰爭の終熄をみるやう最善をつくすと同時に日本側と會議を開き善後處置をなす氣運にあると思はる、なほ張家口市內は專ら日支兩軍の衝突の噂が高いが市內情勢は一般に冷靜である

二十五日の衆議院本會議

【東京國通】廿五日の衆議院本會議は午後一時二十分開會國民同盟の山道襄一君登壇財政、經濟、議會政治、外交等の凡ゆる問題に觸れ特に對滿關係に關して重點を置き

一、滿洲國に於ける貨幣制度が依然支那と同樣銀建であるのは大なる矛盾である、日滿經濟ブロックは先づ貨幣制度改革の斷行によつてのみその第一步を踏出し得る

一、在滿機構の改革案は現地を不安にする他無かつたとは言へ案の取扱ひが甚だ不手際であつた、政治を以て法律と制度と武力の調和なりと解するところに不祥事が勃發する

と大所高所より政治の要諦を說いて前後一時間半に亘る大演說を終つて降壇すれば岡田首相、高橋藏相、廣田外相交々答辯に當る

高橋藏相　滿洲と支那本土との經濟關係は不可分なるものあり、支那と切離して滿洲の發展は考へられぬ支那が今後どうなつてゆくか考へた上でなければならぬ、將來金本位となつてよい時が來たら考へようが先づ〱當分は現狀を以て進まねばならぬだらう

廣田外相　私の演說が外交辭令だ等といふ事は斷じてない、私は事外交に關する問題について一片の私心なしと確信してゐる、個人的の事を申上げて濟まないが私は對支外交については終始誠意を以て之に當り度いと考へてゐる

と挨拶しそれより第一控室松谷與二郎君一般施政問題に關し各大臣に質問、之に對し各相の答辯あつた後蘆田均君外交方針につき質すべく登壇、最近外交方針の確立を見たることを喜ぶ旨を述べ

蘆田均君（政友）廣田外相の協和外交方針に對しては我々も支持を與へるに吝かなるものではない、その外交理論に對しても之を受入れるものであるが併し人を實踐に移したる外交政策については必ずしも全部贊同するものでないとて過去一年間の外交を回顧し

第一　ブラジル移民制限問題に言及し政友はブラジル移民制限法の經過を默々として見送つて居たのであるが外相の所見如何

第二　貿易政策について最近我が國の對外貿易は躍進を續けて居るが之は國民各自の粒々辛苦の結果であつて毫も當局の援助によるものではない、日蘭會商の如き何等の實績が擧がらなかつたではないか

第三　經濟外交の問題に就いて果してどの程度の經濟外交が行はれたか疑ひ無きを得ない、商務官及び領事等の現在の組織では至つて不充分だ、また在外大公使の數は列國と比して甚だ劣勢である

第四　貿易關係につき町田商相に質問するとて商工省に貿易局なるものがあつて外務省の通商局と權限爭ひをやつて居ると指摘し

政府は對外通商事務の總括的機關として獨立の一省を設くるべきである

と力說

第五　に外交豫算が貧弱であると指摘し

第六　對支政策につき最近の對支貿易は沈滯し支那の財政は極度に疲弊して居る天津、上海等を除き支那の經濟界は昔日の面影が無いが之は日貨排斥が原因である支那に於ける銀の流出はアメリカの銀買上政策が重大原因だ、英米が滿洲國の石油專賣制につき日本の注意を喚起したに拘らず日本は重大影響あるアメリカの銀買上げにつき一言も抗議をしなかつたのは如何なる理由か

第七　對ソ政策に就て北鐵交涉の成立は喜ぶべき事だが今日日ソ間に橫はる不安は滿ソ國境に於けるソ軍の軍備充實である、ソ側が協和外交方針を執るならば此大軍備は不必要だ、中立地帶の設置か不侵略條約の締結か何等か積極的平和工作を執る意思無きや

第八　海軍々縮會議に就て華府條約の廢棄の如きはたゞき大工の仕事だ、問題は今後如何にして平和の殿堂を築くかにある、軍備は徒らに自信を持ち續け外交は只櫻雷頭を踊つて浮かれてゐる、私の此言葉が杞憂に過ぎざれば望外の喜びだ

と外交工作の必要を說いて一時間餘に亘る演說を終り、次で外相登壇

廣田外相　ブラジル移民問題は私の不明だ、日蘭會商は不成功だと云はれるが之は未だ解決してゐない、對支外交は積極的に斷行する考へを持つてゐる、又國境の軍備に就ては警告を發したいと考へてゐる、日ソ不侵略條約に就ても考へてゐた事だが文書丈けでは駄目だから事實上の諸問題の解決を先にしたい

と述べ、更に今日の重大なる國際關係に對應すべき決意を述べ

私の在職中は斷じて戰爭等はありませぬ

と述べて答辯を終り、岡田首相又答辯に當り午後六時廿五分散會した

北鐵讓渡起草委員會
廿八、九日頃開催
正式調印は三月初めごろ

【東京國通】廿五日東鄕歐亞局長とカズロフスキー代表との會見の結果、北鐵讓渡協定文起草委員會は廿八、九日頃開催されることゝなつたが右協定案文の用語は英語と假定した、起草委員會は約一ケ月を要する見込みであり且つ又支拂保障に關する日ソ間の交換公文の樞府御諮詢もあるので正式調印は三月初めになるものと見られる

日滿木材協會　第二回總會

【安東國通】日滿木材協會第二回總會は既報の如く二月七、八の兩日午後開催されるが滿洲木材同業組合よりの提出議案は左の二件である

一、滿洲國國有鐵道運賃引下げ其他につき滿洲國及び滿鐵會社、鐵路總局に請願の件

一、滿洲材移輸出、資材拂下げに關し滿洲國政府に請願の件

源田稅務司長　卅一日出發

財政部稅務司長源田松三氏は歐米各國の稅制視察のため來月二十八日橫濱出帆の龍田丸で出發することゝなり本月三十一日新京を出發するが滯在は約一ケ年で米國、英國、獨逸、佛蘭西その他歐洲各國を視察して歸途エヂプト、印度にたちよつて明年一月末歸滿の豫定である

豫備會談再開　十月頃　英政府當局意見を表明

【ロンドン廿五日發國通】英國政府當局では豫備會談再開期は山本代表が歸國し政府と打合せ後で多分十月頃の見込と意見を表明した、なほフランス首相、同外相訪英の際には軍縮問題を持出す考へは無いと述べてゐる

手形交換所の總會

新京手形交換所では二十五日午後一時半から朝鮮銀行で定時總會を開き決算の承認と豫算の打合せをなし役員の改選を行つたが役員は全部重任（委員長杉之原鮮銀支配人、委員栗原正金支配人、栗田滿銀支店長）と決定同三時半終了した

對ソ支拂大豆購入
政府直接買付說有力
大豆振當可能量は　年四十萬キロトン

年四十萬キロトン內外と見らるゝ對ソ物資支拂の大豆購入契約は調印後六ケ月以內に行ふ事になつてゐるが、滿洲國當局に於ては目下政府直接購入支拂を行ふ可きか、中銀よりの融資により大興公司をして買付を行はしむ可きや研究を重ねてゐるが、東邊道地方の凶作地配給のための政府直接買付を行つた例に鑑み、政府直接買付を行ふ可しとの論が有力であるが、目下の處何れとも決定はしてゐない模樣である

北鐵讓渡交涉成立に依り日滿ソ三國間にわだかまる外交的不安の一掃により政治的好影響はもとよりであるが物資による支拂九千三百餘萬圓は從來杜絕の狀態にあつた對ソ貿易の復活をうながし日ソ滿ソ經濟的修交の先鞭と早くも日滿經濟界に强材料となつてゐるが滿洲國より支拂はるべき大豆、小豆はその最幾何になるかは豫側を許さないが滿洲國關係當局に於ては早くも種々の計畫を樹て大豆の需給、物價の急變を虞れその對策に萬遺漏なきを期してゐる、即ち平年作に於て大豆の輸出可能量は年二百五十萬キロトン內外で獨逸へも從來の關係よりして年百萬キロトン內外の輸出は將來に於ける需給を見込して輸出せねばならずその他國內油房工業の需要對の輸出額を除き對ソ支拂に當て得る量は年四十萬キロトン內外と見られて居りその程度なれば不振に沈淪しつゝある滿洲國特產界に健全なる活況を齎すことこそあれ其の反動の虞れなきものと見てゐる

政府側爆彈動議の後始末を協議
高橋、町田兩相追加豫算に反對

【東京國通】議會再開以來衆議院の本會議並に二十五日に開かれた豫算總會等に於て政友會の島田俊雄、大口喜六兩氏等から爆彈動議の後始末に就て追及されてゐるので政府としても何等かの對策を講ずる必要に迫られ後藤內相、山崎農相、內田鐵相の三閣僚は廿五日衆議院本會議散會後院內大臣室に居殘り爆彈動議淸算に關する政友會方面の情報を持寄り種々協議したが、一方高橋藏相は依然として政友會の爆彈動議によつて追加豫算を提出する事は理由の無い事であるとし、町田商相も眞に必要なりと認めて追加豫算を提出するの場合は兎も角も苟めにも政友會との妥協の爲の追加豫算であるならば絕對に反對であると主張してゐるから爆彈動議淸算と追加豫算の取扱ひに關しては今後幾多の曲折を免れぬものと觀られてゐる

床次問題追擊は　二月初めか

【東京國通】政友會では豫算總會に於て先づ農村對策に關する質問に主力を集中し、これが相當の結末がついた際再び床次遞相の綱紀問題等に關する質問を行ふことに大體態度決定を見て居り、床次問題追擊は一月末乃至二月初め頃となり津雲國利氏が立つことゝなる模樣である

爆彈動議の所以を極力說明
—政友の對議會策—

【東京國通】政友會では廿五日の院內總務會に於て豫算總會に臨む黨の態度方針を協議した結果、其の主力を農村救濟策に注ぐ事とし特に其質問に對しては所謂爆彈動議たる一億八千萬圓の論據を些細に說明して承認を要求し、政府並に國民をして右動議の不當に非ざる所以を納得せしむる事に重點を置く事に決し、今後の對議會策の重點を此點に集中する事となつた

衆議院の質問陣　核心に觸る

【東京國通】議會の中心は廿五日より本格的に衆議院豫算總會に移り、既に廿五日質問の第一陣に大口喜六君は爆彈動議の核心につき時局救濟の應急對策及び恒久對策の關係に及ぶ質問の矢を放つて前衞戰を試みたが廿六日は午前十時開會と共に再び大口喜六君起ち引續き舌戰を進め、漸次爆彈動議の後始末の核心に觸れ、次で第二陣太田正孝君が起ち爆彈動議後始末問題は白熱的論戰を呈し高潮に達した第三陣は民政黨の小川鄕太郎君であるが時間の都合上同君の發言までに至るかは疑問である

三土氏の出陣取止め

【東京國通】三土忠造氏は議會で自ら人權蹂躙問題絕叫の豫定だつたが黨內に心あるものゝ間で議會を自己辯護の具に供するとの譏りを受けるは政黨の信用恢復上喜けず又氏の親友望月氏も制止したので中止に決定した

人事往來

▲武內信氏（辯護士）二十五日午後來京國都ホテル投宿
▲永井四郎氏（黑龍江省總務廳長）同上
▲西方虎太郎（建築技師）同上
▲千葉茂雄氏（榊谷組）同上
▲谷川時一氏（榊谷組）同上
▲鵜島秀三郎氏（滿蒙毛織社員）同上
▲平川正雄氏（北滿特別區公署）同上
▲筒井助右衛門氏（北洋木材石炭會社員）同上
▲土橋貞利氏（炭鑛會社員）二十六日午前來京國都ホテル投宿
▲結城興明氏（滿洲教育研究聯合會理事）同上
▲勝野太氏（大連泰東洋行）二十五日午後五時三十分着奉天から大和ホテル投宿
▲藤田敏一氏（海軍少將）二十五日午後十時三十分着奉天から大和ホテル投宿
▲鹿目善輔氏（海軍中佐）同
▲川本親雄氏（同上）同上
▲毛利剛三郎氏（海軍少佐）同
▲吉武正男氏（ハルビン滿鐵事務所員）廿六日午前七時着奉天から大和ホテル投宿
▲河村政任氏（滿洲殖產銀行）同上
▲國吉善一氏（會社員）二十六日午前八時五十分着奉天から大和ホテル投宿
▲石村長七氏（ハルビン建設事務所）同上
▲武田次郎氏（三菱社員）同
▲高津豐久氏（合社員）二十六日午前九時二十分發ハルビンへ
▲松浦□三氏（合資會社松浦商店主）二十五日午後五時卅分着大連から名古屋ホテル投宿廿六日午前發內地へ
▲澤村駿甫氏（陸軍少佐）同錦州から名古屋ホテル投宿
▲入田嘉明氏（滿鐵副總裁）二十六日正午發奉天へ
▲小川順之助氏（大連市長）二十五日午後八時發大連へ
▲淸水良策氏（民政部總務司長）二十五日午後九時內地から
▲黑木喬氏（法務官）同上
▲桑名照二氏（陸軍大佐）二十五日午後九時十六分着新站から
▲高杉中將（海軍省醫務局長）二十五日午後十時三十分着內地から大和ホテル投宿
▲小林少將（同上人事局長）同上
▲白石中佐（駐滿海軍部參謀）二十六日午前七時發奉天へ
▲齊默特色木丕勒氏（蒙政部大臣）二十六日午前八時五十分着奉天から
▲御影池辰男氏（關東局警務課長）同上大連から

限りある人生
43　訪れ（三）　夏川靜江作

「さうだ、ホテルへ行つて、今日は、芳夫さんをつれ出してやらう？前以て、電話なんかゝけるよりも、不意に行つて、おどろかしてやらう」

から思つたとき、夫人は、ぞくぞくと、身內の慄ふやうな氣がした。さつきから、あれほど考へたのに、どうしてこゝへ氣がつかなかつたらう？高村とは、或所で三日前に會つたきりで、昨日も、おとゝいも、他所へ行つてしまつたのだ。三日會はずにゐると、隨分會はずにゐたやうな氣がする——いまゝで夫人が、愛し合つてきた男の中では、今の高村が、いちばん若いのだつた。それだけに、夫人としては、愛人と思ふよりも弟のやうな氣もちでゐるのだつた。

橫濱のある外國商館に勤めてゐる若い技士で、まだ高等商業を出て間がないが、相當の後才であると共に、高村の家が、嘗ではかなりの資產家のために一ゝ一ト月程前から、商館の用で東京へ出てきてゐる間を、かれは東洋ホテルに泊つてゐたのだつた。

高村と、自分の關係を考へたとき、夫人は、ふと良人の友達博士のことを思ひ出した。

しかし、それは、博士を良人として考へるよりも、帝國病院の醫學博士といふ夫人には、何の感興も起らないかれでしかなかつた。夫人が、友喜博士と結婚したのは、いまから九年前十八のときで、それは、まるで生家から追はれるやうなかたちで十七も年のちがつてゐる博士と結婚したのだつた。

そこには、夫人の家の沒落しかけてゐたことも原因してゐたが、もうひとつ妾腹であつた夫人を、早く、他家へ片づけてしまひたいといふ、厄介拂ひにも似た父の氣もちもあつたのであらう。勿論、夫人は、十七も年の違つてゐることを擧げて、この結婚には出來るだけの反對をしたのだつたが、それはつひに許されなかつた。

從つて、さうした不合理な結婚であつただけに、最初から、良人にも、妻にも幸福をもたらす筈はないのだつた。一方の意志に反し互に、こゝろもちに深い交涉のない結婚が、どうして幸福をもたらさう？まして、紗沙子夫人のやうな女性においては、猶更のことだつた。結婚して二年目に睦といふ男の子が生れたけれど、却つて、夫婦の間は隔離して行くばかりだつた。そして、この頃では、救ふことのできないまでに進んでゐるのだつた。

表面は、夫婦といつても、一つの家に全然違つてゐる二つの生活が、何等の交涉もなく營まれてゐるにすぎなかつた。

夫人が、マニキユアをすました頃へ、およしが、銀盆のうへにおそい朝食を支度して運んできた。いつも夫人は、朝食だけ寢臺でとる習慣になつてゐた。

『今日は、グレープ・フルーツにいたしましたの』

『あゝ、それでいゝわ』

『それから、あの睦ちゃんのおやつは何にいたしませうか？』

『さうね。お前のいゝやうにしておいて……』

と、夫人は、テーブルについた。

畏き思召を体して 中島侍從武官來京
親しく皇軍御慰問に御差遣

滿洲皇軍御慰問の畏き御思召を以て御差遣された侍從武官中島鐵藏大佐は廿六日午後二時着京、驛頭には西尾參謀長、長岡關東局總長、鄭滿洲國總理らを始め官民多數出迎へ、下車後驛構内貴賓室に少憩の上左記順序で代表者の挨拶を受け名古屋ホテルに入つた

關東軍參謀長、警備司令官、谷參事官、關東局總長、滿洲國總理大臣、總領事、地方事務所長、新京特別市長、地方委員會議長、在鄕軍人聯合分會長、鐵道事務所長、居留民會長、鐵路局長、商工會議所會頭、教育團代表、朝鮮居留民會長、區長代表

新京の電話も近く五聲に變更
新開地と城内一部が本局管内

目下大同廣場西側に工事中である電々會社本社が九月竣工すれば現在の新京中央電話局は分局となり新京を二つに區分して新開地一帶および城内の一部を本局の管轄としその他を分局の管轄とすることに内定しこの分區につれて現在の四聲の番號も大連と同樣五聲に變更されるが今のところ本局管内のものは現番號の上に二、分局管内のものは三をつけることゝなつてゐる

爆竹用火藥爆發
鐵道事務所再發に注意

さる二十二日滿鐵線下り第十九列車で奉天發送開原到着小荷物中に爆竹又は爆竹用火藥が混入してゐたゝめ開原驛で取卸した瞬間爆發し人夫一名は左眼に治療四週間を要する傷を負ひ他の一名は顏面に治療一週間を要する傷をうけたまた二十五日上り第三十六列車で新京發送安東着小荷物一個を奉天で第四列車に積替のため運搬中ホームに落し運搬車の下敷になつたゝめ中味のフイルムが發火し他に三個の荷物まで類燒したこの不祥事に鑑み新京鐵道事務所では舊正前にこの種爆竹類似品の輸送が多くなるので特に發送受託驛で内容、器具の檢査をなし、到着驛では特別監査を勵行して斯樣な不祥事再發の防止に努める

救世軍愈よ滿洲國進出

宗教に國境なしのスローガンの下に新滿洲國を目指す各種宗教團體の進出は最近目覺しいものがあるが從來滿洲國領土内に何等の根據を持たなかつた救世軍では日本々部、華北本部何れかより指導者を派遣し滿洲區部設立に着手される豫定であつたところこの程華北本部を進出せしめる事に決定したと見へ同部の施崇善中佐は非公式に來滿奉天、新京兩地を視察した、その結果同中佐は奉天に區部を設置する事を適當と認め右舍屋設立案並に宗徒擴張案を具して萬國救世軍本部に報告したが之より先同總本部では新京に區部を設置したき意向を指示して居た模樣であるからその裁斷は頗る注目さると

不潔な鮮銀券 見付け次第燒く
非難の聲に鮮銀で語る

朝鮮銀行發行の紙幣中一圓、四十錢、二十錢などの小額紙幣に不潔なものが最近非常に多いといふ非難の聲に對し鮮銀當局では次の如く語る

小額紙幣は輸送の關係上軍部でこれを多く奥地に持ちゆきそれが流れ／＼て又こちらに入つてくるのでその間に不潔になるものと思はれるが當行では銀行に戻り次第これを處分し多い時には一日に五十錢、二十錢だけの紙幣で百圓くらゐもある、銀行としてもこの種紙幣には注意して回收してゐるのであるが一般においてもその取扱にお互ひ注意し氣持のよい紙幣を使用するやうにしてもらひたい

醫業國營論（一）
醫學博士 鍋谷傳次郎

建議

醫業國營は經世濟民の良道なりと信じます滿洲帝國の如き新興國には最も行ひ易き最も應はしき良案と思ひます

希くは先づ本問題調査會を設立せられて漸次に完成せられむことを

醫學博士 鍋谷傳次郎

第一編 王道樂土と醫業國營

予が今般から玆に醫業の國營を滿洲國に布くべき提議を出して見た處で恐らくは同僚の中に賛成する人は尠いであらう又反對論が同僚以外の方からも出るであらうが併し苟も王道樂土と銘を打つた新興滿洲國が其の「モットー」に最も應はしき施設を行ひ得ない筈はないと信ずるものである

×

世界で醫業國營を行つて居る國は殆ど無い、只蘇聯邦が共產主義といふ立場から國營的に遣つて居るといふことを聞いて居るのみである、予は彼等の理論に聞似て提唱するものではない、予の醫業國營論は寧ろ資本主義的國家經濟に應用してこそ意義もあり運用の妙もあるのである

×

本來世界各國に於て醫術が營業的に甚しきに至つては商賣的に行はれて居るといふことは恐らくは未開草昧時代の原始的醫術から來た習慣性を脫し得ざる制定であらう

×

彼の現代醫術の代表的と見らるる外科手術の如きも本來床屋即ち理髮師の手から始まつたものである、然るに現代醫術は正に自然科學の粹に依つて出來上つて居る

×

草昧時代の醫術とは全く其の本體を異にするに至つて居る之を庶民の上に平等に施して其の餘澤に浴せしめむとするには個人的營業方法では何れの點より見るも全く不適當である宜しく國家が社會的施設の下に經營すべきである、而して一般民衆の健康を保護し且つ其の增進を圖るべきである

×

曾て某醫學雜誌に日本の醫業制度に對する吾人の所感を求められた事があつたが多數の同僚は之を以て日本獨特の良風美俗として讃へて居つたけれ共予は數十年來の實驗より現代では毫も良風美俗として認め得べき點の無いことを說いたが、實際醫師と民衆との關係は只餘りに現金取引に過ぎて眞實に禮儀を以て相迎へあふと云ふやうなことはないと見るのは僻目であらうか

×

其の點は寧ろ歐米の方が始めから平氣で當り前として現金主義で取引せられ居る習慣であるから社會的には「ドクトル」として相當醫師に權威を持たせて居る

×

又尊敬も拂つて居る時に米國に於ては富者は富者相當の報酬を拂ふを以て普通のことと考へ、醫師は又數千弗數萬弗の報酬を請求して何等臆する所がないと共に貧者に向つては施療でも何でも遣つて居る日本には昔は良風美俗があつたに相違なからうけれども漸次世間がせち辛くなつた現在では之も亦止むを得ざる現象と云はねばなるまいが、新しき酒は新しき皮囊に盛らざるべからざるが如く、日進醫學にはそれに應はしき施設を實行して國民の健全を計らねばならぬ

×

滿洲國には日進醫學を修めたる醫師といふ者は誠に尠い、否全く九牛の一毛といふ程度である、從て衛生行政法の如きものは出來て居らない、此の點では全く白紙の國家である、此の國家は國民の健康を保護し且つ增進せしむべきために是非共日進醫學に依つて衛生機關を完備せしめねばならぬ、此の時此の際舊套より脫し得ざる不適當の制度に倣はず百尺竿頭一歩も百歩も進めて王道樂土に相應はしき醫業の國營を斷行すべきである

×

今醫業國營の本論に進むに當り試みに衛生行政の大體を分類して見ると

（一）公衆の健康を增進するための諸施設、例へば上水道、下水道、公園、飲食物の取締、營養物の改善等を計る保健衛生

（二）慢性傳染病、例へば結核、梅毒、癩病「トラホーム」、寄生蟲、性疾患、精神病乃至亞片中毒者等の豫防及撲滅を計る豫防衛生

（三）急性傳染病、例へば「ペスト」赤痢、腸チフス、痘瘡、「コレラ」等の豫防及防疫を計る防疫衛生

（四）醫師 齒科醫及之に附隨する諸營業者を取締る醫務衛生

等であるが此の中で國家的に一番重要なる關係を有する部類は醫務衛生であると云はねばならぬ、新興三年に滿たざる滿洲國自體には眞の醫師と稱するものは數ふるに足らない程度であることは前述の通りであるが第一に目下の滿洲國の醫業者を整理しなければならぬ、第二には滿洲國の醫師規則の發布と共に醫師の養成を計らねばならぬ、第三に或る程度迄日本から醫師を輸入して要所々々に就職せしめねばならぬ、第四には滿洲國醫業研究所を創立して滿洲獨自の醫學を創建しなければならぬ、第五には藥業者及醫業に附隨する諸機關例へば產婆看護婦を養成しなければならぬ、第六には醫業類似の職業按摩、鍼灸、或は理學的療法者と云ふ類は醫業の一部に加へ醫師の監督及指揮の下に應用する必要がある、第七には宗教的乃至精神的健康法及治療法も充分な理解を以て國家の統制の下に取締るべきである、之には相當の權威者を顧問或は監督者として起用すべきである、之等の醫務の全部を醫業國營法の下に統制する爲めに衛生部を創立して國務院に隷屬し、特任の衛生部大臣を置く制度となさねばならぬ、而して醫師は皆官吏と爲し其の階級は日本の陸海軍に於けるが如き統制を採り天才手腕を有する者には特に其の技を振はしむる便法を以て自由を興ふる道を造るべきである、又有效なる新治療法や新藥等の發見者には相當なる賞與をなし、之が獎勵をなすと共に病院は其の土地の狀況に應じ避病院と共に設立して其の便宜を計り、藥料、治療代入院料の如きは實費程度の有料制度となすべきである、勿論貧者は施療を爲すと共に一面醫學研究の學用患者に利用し、賣藥は此の國營中に加へ一つは醫業國營の資源となし、阿片專賣の如きも衛生部に直屬せしめ、其の利益は擧げて醫業國營の資源となすべきである、有料制度と之等の資源があれば醫業國營に要する財政問題の如きは充分自給自足に行ひ得る確信がある

タクシーと貨物自動車激突

二十四日午後九時ごろ中央通羽衣町、三笠町の交叉點で羽衣町一丁目二十二番地大タク運轉手神戸仲成治(二五)が京第四九八號車を運轉し羽衣町から中央通を橫斷せんとした際入船町一丁目十三番地自動車修理工杉山一人(二五)がトラック京第四〇六號を中央通を驛前に向け運轉中激突しタクシーの運轉台後部兩側フエンダー、上部ボデー支柱を折損したが幸に人畜に死傷がなかつた

治療代一圓で喧嘩示談

市内東二條通り四十一番地朝鮮旅館客引許月淳（二二）和泉町二丁目二十九號徐龍雲方止宿夜警人申道岩（三八）の兩人は二十五日午後八時ごろ新京驛構内で客引の事から爭ひ、口論の末許は申を毆打し申の左眼部に負傷させた、驛詰警察官が仲に入り許は申に治療代金一圓を拂つて說諭の上示談解決をつけた

驛運轉手詰所へ泥棒押入る

市内入船町三丁目七番地新京タクシー驛構内營業所運轉手詰所に二十五日午後十一時十分から二十六日午前六時四十分にいたる間に何者かが鍵を捻ぢ切り侵入して圓形柱時計一個時價十五圓、敷蒲團一枚掛蒲團一枚時價二十七圓、ロシア毛布一枚時價十七圓、駱駝色二枚續き毛布時價八圓を竊取してゐるのを發見右の旨驛警官詰所に屆出でた

二年越しの懸案 新發屯の土地貸下
商店、住宅併せ百二十六筆
近日中受付を開始

昨年第一回の貸下を行つた滿鐵新社宅街周圍をめぐる西部附屬地の第二回貸下については地方事務所で昨年來の懸案となつてゐたが、いよ／＼昭和九年三月附滿鐵社告第二百五十六號奉天及新京附屬地特別規則によつて近日中に貸下げることに決定した區域は櫻木町全部（從來の一丁目から五丁目までの名稱を廢し一番地から六十番地まで）花園町芙蓉町、桔梗町、水仙町の各二丁目一部で住宅地六十二筆商店街六十四筆計百二十六筆で一時申受金として一平方米につき

△商店街 三圓、二圓五十錢二圓

△住宅地 二圓、一圓五十錢一圓二十錢

を納付するものとしてゐる。商店街は前回の計畫を途中變更したものであるが當時の内容とは大いに異にするものあり、また借入人の立場も變つてゐるのでこの際既に申込者も更めて正式申込をなされたいとのことで住宅街の方は全然新規のものである、近く正式決裁のうへ直ちに一般の受付を開始する事になつてゐる

泥醉の結果か 奇怪な强盜の訴
領事館警察大汗の事

二十六日午前零時卅分ごろ新發屯元壽胡同居住同和工務所員川越千代治（三三）が客馬車に乘り附屬地から安達街を經て歸宅中協和會住宅附近で下車せんとした際突然强盜が現はれ角棒で前額部二ヶ所を毆り付け重傷を負し逃走した急報に接した新京總領事館署では直に全署員の非常召集を行ひ下田司法主任指揮の下に被害現場を初め新發屯一帶を包圍し早朝迄警戒に努めたが遂に犯人を逮捕するにいたらなかつた、一方被害者を濱町醫院に收容し嚴密に狀況を聽取したが被害者の所持品は一物も盜まれておらず且つ襲擊現場まで乘つて來た客馬車がゐない點から推して强盜に襲はれたのでなく泥醉のあまり轉落したものでないかと見られてゐる

街の日記

高島正象師 地方鑑定出張

高島派易學界の權威高島正象師は新京に永住を決意し市内室町二丁目田中ビル階上に高島易斷新京支部を設立し早くも半歳を經過好評を博してゐるが師は今回約一ヶ月の豫定を以て正龍千弟を隨へ地方出張鑑定に赴く筈で二十七日より五日間を四平街、續いて二月二日より十日迄鞍山に滯在鑑定し旅順、營口、安東各數日鑑定の豫定である

土木係の美擧

既報、公設施療を受ける哀れな人々が近頃新京にも殖えたといふ本紙の記事に感激して地方事務所土木係有志は申合せて俸給の一部を割きこれが資金にと二十六日金六十圓を地方事務所社會係を經て濟生會に寄附した

長野縣人會

在京長野縣人會は來る三十日午後四時半からダイヤ街料亭一つ家で同會總會並懇親會を開催するから奮つて出席と未入會者の入會を歡迎するさうである、同日の會費は金五圓、出席者は豫め市内中央通り一三、電話三三五〇番の同會事務所へ申込まれたいと

日本基督新京教會集會

一、日曜學校 午前九時 高等科 九時半

一、朝拜 午前十時十分 「人を漁る者」 吉川牧師

一、夕拜 午後七時 於階下室 「使徒行傳研究」（三） 講師 吉川牧師 來聽歡迎

日の出を拜するつどひ

二十七日（日曜日）朝六時五十分より西公園誠忠碑前にて（新京日出時刻七時〇二分）市民早起會は七時二十分より

けふの銀相場

金票對國幣 一〇三・四〇[illegible]

金票對鈔票 一二四・八五[illegible]

鈔票對國幣 八六・三〇[illegible]

現大洋對鈔票 一〇四・六〇[illegible]

反消安東代表報告會

【安東國通】二十五日午後六時から安東公會堂に於て全滿洲日滿商店聯合大會報告會が開催される、本會はその名の通り去る二十日の新京に於ける聯合大會に安東より出席せる代表者の一般商工業者に對する報告會であるが報告終了後全滿反消運動の統制機關として新に產れた滿洲商業團体聯合會安東支部設置について協議が行はれる

第三期整備協議
軍政部顧問會議

既報、第六回軍政部顧問會議は二十三日から二十六日まで四日間にわたつて顧問會議室において開催されたが、會議の内容は主として第三期整備時代における滿洲國軍の整備事項を中心に審議された模樣で第三期整備案は仄聞するに次の如きものである、即ち第三期整備要項は第一第二兩期における兵匪、土匪討伐一段落の後を受けて

軍制を確立し眞に統一ある國軍となさんとするもので昨年七月滿洲國陸軍編制改正要領によつて國軍の統一的編制を斷行し内容の充實編制の强化統一の實施によつて開始され更に各種部隊の增設、軍管區病院の設置、京師憲兵司令部以外に新京憲兵隊及び各軍管區憲兵隊を建設して特別查察機關並に最精銳部隊として整備するにあり、憲兵隊の建設は既に昨年七月新設された吉林憲兵訓練所第一期生六百名が來る二月訓練を終了し新設六憲兵隊に配置される筈である、この外各訓練所の改革及び人事、給與恩賞、救恤等に關しても相當廣範圍の强化改善が行はれるものとみられ、第三期整備の完成は名實共に國軍の確立を實現し非常時における日滿議定書に基く共同防衛の完璧を意味するものである

宇野少將逝去

【橫須賀國通】海軍砲術學校長少將宇野積藏氏は廿五日午前十時十五分同校生徒に訓示中腦溢血で逝去した享年五十

天氣 北西の風晴れ
氣溫 最高零下五度六 最低零下十九度八
日出 前七時〇二分
日入 後四時四十一分
月出 後 時 分
月入 前九時四十一分

夢禪茶語錄(五)

大正寺詰　命斐正英

「上に轉ろぶ!!」
「これです〳〵」
物理學から云ふなら
「上に轉ろぶ」
道理はないが…
「心の世界ではお茶の子サイ〳〵」です…
「上に轉ろぶ!」
私は之を
「更生の行…」
と呼ぶ…
「失敗は成功の基」
と云ふ、
「失敗したら泣くがいい…」
「大晦日のドタンバで借金で首が廻らぬなら…」
「廻るまで泣けばいい…」
「廻るまで泣け?とは…」
「上に轉ろぶのだ!」
「更生の行だ!!」
「悲觀するでない!」
「下るは安く上るは難い!」
「更生の行…」
とは
「涙の行なり…泣いて進む!の意なり…」
故に論來云ふ…
「泣くが故に强きなり…」
と…
「泣かない奴に更生はない…」
「何時も阪の中途に在つて上らうか?下りやうか?」
と二の足を踏んでゐるばかりです…
上ることも下ることも…」
出來ない幽靈ですこれを私は
「世間人!」
と命名する…
「通常人です!」
「藥にもならず…毒にもならず…」
の連中です…この連中が
「何をクヨ〳〵河邊柳…」
てな歌を酒に紛らしアブク垂らして呻吟してゐるからおかしいです…
「泣けない奴…」
に何が出來るもんか…
「閑えん奴に…」
何が解るもんか…
「泣く人よ!」
「泣かされてる人よ!」
「悲觀どころか…喜べ!悦べ!」
「同じ泣くなら」
「トコトン…泣くのだ!」
「泣いて涙の乾くまで…」
「谷底突いたら上るのだ!」
「獅子奮迅の勢ひで!」
故に更生の行人は
「泣の中に微笑む自分を發見する!」
かるが故に
「涙とは?悲しみの意なら!」
「歡喜踴躍の意なり!」
と…サービスガールが黄色い聲をレコードに合はして…
「泣くのぢやないよ…泣くぢやないよ…」
などと唄ふ私大反對です…
「泣くのぢや泣けよ…泣いてく…」
と訂正したい…そして次に
泣いて…微笑む人となれ…
と唄はせたい…
禪語に
「大死一番し來れ!」
と云ふ語か有る…
「眞に復活を庶ふ者は…潔く大死一番することだ!」
「牛殺しはいかん!」
徹底殺すのだ!」
其處に新らしき『己』が再生する!」
「大死の下に大活あり…人よ!必ず大死せよ!」
「大死とは?」
「小我を殺すの意なり…」
「小我を殺し盡す處に…」
「自由の大我は湧然として生れる!」
「人よ!一度は必ず泣いて見るんだ!」
泣いて泣いてトコトン泣くのだ…」
トコトン轉ろんで谷底突くのだ!」
「そして奮然と更生するのだ!」
「大活現成するのだ!」
「平穏必ずしも結構とは云へぬ!」
「七轉び八起きだ!」
「迂餘曲折だ!」
「波瀾重疊だ!」
「之を浮世と云ひ娑婆と云ふ!」
之を禪語で…驢事馬事、と云ふ!」
「若しきが故に『娑婆』を『忍土』と譯する…」
地上の『生者』に『苦惱』はつきもの…
「泣くのが當然!」
「泣かぬがうそ!」
「泣げ人よ!」
「泣いて人生の味を嚙みしめろ!」
「辛ければこそセンブリは身の藥りとなる!」
「甘いサッカリンは身の毒だ!」
「一時の甘味に醉ふては駄目!」
「辛くとも嚙んで含んで末の儲めを思ふのだ!」
「今に見ろ〳〵…の意氣で」
…」
『涙の禪』も之位で終りにします(完)

一週 日曜 一月二十七日 癸卯 佛滅 滿 昴宿

●一白の人　快く仕事の捗る日但し飲食には注意すべし　甲と庚と辛が吉
●二黒の人　先見の利かぬ日新規の事には手を出す勿れ　丙と辛と子が吉
●三碧の人　暗々裡に厚情を受けて事業發展し行く吉日　乙と坤と申が吉
●四緑の人　過分の望を起さず營々業に滿足すべき日　坤と申と亥が吉
●五黄の人　報ひは少くとも勞苦を厭はず自ら勵むべし　丙と丁と壬が吉
●六白の人　氣緩みより大事を敗ることあり世話事注意　甲と丙と辛が吉
●七赤の人　物事氷引くとも心を緩めず勵めば必ず成る　乙と丁と庚が吉
●八白の人　月も滿れば欠くる何事も八分に滿足すべし　甲と壬と艮が吉
●九紫の人　惱みもあれど努力によりて吉日と成るべし　巳と壬と癸が吉

滿洲國銀行事情（五）

銀行科長　松崎健吉

次に第十三條でありますが是も銀行監督上重要な規定であります銀行の業務又は財産の狀況に依り財政部大臣が預金者保護等の爲

必要

と認むる時は業務の停止其他必要なる處分を爲し得るのであります「其の他必要なる處分」といふのは非常に廣い意味を持つて居りまして財政部大臣は法律に依り廣範圍の權限を賦與されて居る譯であります既に本條の發動に依り財政部大臣が業務停止を命じた銀行も二行あるのであります、日本及中華民國の銀行法にも同趣旨の條文があります、尙業務の停止を命じた銀行に對しては之に内容の整理を命ずるのでありますが、其の整理がうまく行かず再起の見込ない時は財政部大臣は一歩を進めて營業の許可を取消すことが出來ます、それが第十五條の規定であります、是は日本の銀行法と同じであります、日本に於ては舊銀行條例には此の十五條に該當する條項がなかつた爲に非常に不便を感じたのでありますが、此の經驗から現行銀行法に斯ふした規定を加へて居ります、中華民國の銀行法に於ても

文句

は大分違ひますが解釋上同結果になる規定が存在して居ります

×

次に業務停止を命じ又は更に營業許可を取消し得る場合がもう一つあります、即ち銀行は法令、定款、財政部大臣の命令を遵守すべきは勿論、公共的機關である以上公共的義務を有つてゐるのでありますが、之等に違反した場合であります、是が第十四條の規定であります尤も此の場合には別に法人の業務執行社員即ち株式會社の場合ならば、取締役又は監査役の改任をも命じ得るのであります

×

第十六條は所謂外國銀行に關する規定であります、外國銀行は其の支店其の他の營業所又は代理店に付夫々之を一つの獨立銀行と看做して取扱ふことになつて居ります、此の條文は外國銀行に關する根本規定がありましてあとは本條に基き「銀行法第十六條の規定に依る銀行の特例に關する件」といふ財政部令で稍々

詳細

に補足的に規定してあります、諸外國は我が國に對して所謂治外法權を享有して居ります關係上斯ふした規定を設けましても理論上は適用範圍が非常に狹いことになります、唯中華民國及蘇聯側の銀行は治外法權を有するものと認められませんから是等には直に本條が適用されるわけです、併し我が國に於ては鋭意治外法權撤廢の準備に努めて居りまして近き將來には外國銀行をも完全にコントロール出來る時機が來るのでありまして、斯うした曉には本條の適用範圍は非常に廣くなるのであります、日本の銀行法にも同趣旨の條項がありました同趣旨の大藏省令がありますが、中華民國銀行法に於ては流石に治外法權を考慮してか外國銀行に關する條項が全然ありません、日本側の諸銀行は治外法權を享有して居りまして、プリンシプルから言へば滿洲國の銀行法に如何なる規定がありまして之に拘束されぬ譯になりますが、此の點は日滿合作の精神に依つて實際上協調を圖つて行かねばなりません、目下外交機關を通じて之が

解決

を交渉中でありまして近く最終的解決を見ることになつて居ります、勿論日本側の諸銀行は何れも財政部に對し好意と信用とを有つて居りますので協調は困難ではないのであります、現に今迄に於ても朝鮮銀行でも滿洲銀行でも滿洲國内に支店出張所を新設した場合には自發的に財政部に認可を求めて來てゐる狀態であります

“日本の發展を抑へる要なし”
米紙の興味ある論説

米國に於て最も有力なる評論家として著名なウォルター、リップマン氏は廿二日のニューヨーク、ヘラルド、トリビューン紙上に日米關係のニュー、ディールと題して米國の對日政策の變化に就き左の如き論説を掲げてゐる

米國は豫て日本の極東に於ける膨脹の目付役として自他共に許して來たが、最近此考へを再檢討せんとの機運が米國政府内部に見受けられるに至つた、今次の海軍豫備交渉でも最初の程は米國は依然日本の主要相手を勤め日本は頑强に反對の立場を執つたが會議が進み日本の決意が判明するに伴ひ米國全權デヴィス氏の態度は從來の米國の極東政策とは餘程違つて來た、即ち米國が亞細亞に於て列國の先に立つて日本に當る事が米國の利益でないといふことが認識されて來たのである、これは事實に僞りない現象で國務長官ジョン、ヘイ氏の門戸開放宣言以來の重大事件である、新しい米國の態度を要約すれば極東に於ける米國の利權は英國の六分の一、全支那の外國投資の僅か十六分の一を占むるに過ぎず、滿洲も米國としては大して重大でなく上海、香港其他アジア各地方を見ても英佛蘭露には密接な利害關係こそあれ米國にはそれ程重大な關係なく、此の客觀的現實より觀來れば米國は極東問題につき何も自分が先立つて日本の發展を抑へる譯はないといふにある、この政策がロンドン、パリ、ワシントンで一層明瞭となり共意義に重大性が認められるに至れば極東問題に新生面が開け米國が戰爭の危機に捲込まれる虞れは減少するであらう

安東省公署増築
十萬圓を計上
解氷期早々工事に着手

【安東國通】九萬圓を投じて昨冬新築落成した安東省公署は未だ人員の揃はざるに既に極度に狹隘を感じ各部屋に所要の机が据えられず執務に差支へるため増築の必要に迫られ經理科では約十萬圓の増築計畫を樹てゝ近く民政部に申請することとなつた、民政部でもこの實狀は既に承知して居るので解氷期早々増設工事に着手されるものと推測される

本年度
大豆出廻豫想高

【奉天國通】本年度の全滿特産大豆の出廻高豫想は三百五十九萬キロ、輸出豫想は二百七十九萬キロ、國内消費八十萬キロで昨年度の出廻高四百六十萬キロ、輸出總量三百六十萬キロ、國内消費九十五萬キロに比し出廻高に於て百萬キロ、輸出量に於て八十萬キロ、國内消費に於て十五萬キロといふ大減少が豫想されてゐる

日濠通商條約
卅一日より會商開始

【東京國通】廿五日村井シドニー總領事より外務省着電に依れば、濠洲政府は愈々來る卅一日より日濠通商條約締結交渉をカンベラに於て開始する旨同總領事に通告して來たので、村井總領事は廿九日事務官と共にシドニー發カンベラに向ひ正式會商を行ふ事となつた

波亞銀行
近く開設

【ハルビン國通】當地砂糖貿易商ポーランド人ツイックマン氏が發起人となり設立計畫中の資本金國幣二百萬圓波亞銀行は目下滿洲國政府に認可を申請して居るが大体認可される模樣である、同銀行の開設は二月十五日頃となる筈であり既に場所を中央大街ロシア人商工合所ビル二階を契約し準備を整へて居る、同銀行の開設の目的は滿洲國とポーランド間の大豆取引開拓にありといはれて居るが重點はポーランド品の輸出に便するためとも云はれ毛織物の市場を滿洲國に求めんとする同銀行の内容は佛亞銀行を模倣し本店はポーランド本國に置かれて居るがハルビン支店が事實上の本店で一切の管理をなして居る、尙同銀行頭取は現在大連にあるラーレフ氏で嘗て露亞銀行支店長の席にあつた人副頭取はノビユフ氏で現在露亞銀行整理會員に何れも決定して居るが實權はツイックマン氏が握つて居る

濱江省縣下
難民救濟
民政、實業兩方で具体策

【ハルビン國通】濱江省農村救濟問題に關しては既報の如く民政廳、實業廳が中心となつて具体的計畫中であるが、その救濟方法としては各縣難民に對して相當額の貸附を行ひ本年收穫後一割の利子を加へ現物を以て返濟せしめ之を各縣の倉庫に貯蓄し將來の凶作災害に備へる事に決定した尙中央政府に於ては全滿難民救濟資金として百萬圓を支出するが濱江省救濟費は災害程度並に難民の正確な調査後決定し中央よりの指圖を受ける筈で二十五日民政廳より管下二十七縣に對し各縣の難民數の調査方を命ずる所あつた

日蘭會商
用語問題で延期

【神戸國通】日蘭海運民間會商は用語問題で停頓を來してゐたがジャバチャイナ側は本國政府の回訓に依り今次の會議に日本語の使用は差支へ無いが協定文作成には英語のみ使用したいと併用案を折衝して來つたので兩者對立、廿五日の會商は右解決まで延期となつた

海外經濟

倫敦銀塊 [illegible]
同先物 [illegible]
紐育銀塊 [illegible]
米英爲替 [illegible]
米日爲替 [illegible]
米支爲替 [illegible]
スチール株 [illegible]
アナコンダ株 [illegible]

▲米棉
現物 [illegible]
一月限 [illegible]
三月限 [illegible]
五月限 [illegible]
七月限 [illegible]
十月限 [illegible]
十二月限 [illegible]

▲上海日本向
第一回 [illegible]
第二回 [illegible]
第三回 [illegible]

▲上海倫敦向
第一回 [illegible]
第二回 [illegible]
第三回 [illegible]

▲上海紐育向
第一回 [illegible]
第二回 [illegible]
第三回 [illegible]

▲上海標金
昨引 [illegible]
高値 [illegible]
安値 [illegible]
本日寄 [illegible]

▲大連金鈔票
現物 [illegible]
寄付 [illegible]
引 [illegible]
高 [illegible]
安 [illegible]
出來高 [illegible]

▲大連上海向
大連鈔票銀大洋 [illegible]
現物 [illegible]

▲大連煙台向 [illegible]

▲阪神日米 [illegible]

各地市場

▲大阪株式
大株新 [illegible]
大紡新 [illegible]
鐘紡新 [illegible]

▲同短期 [illegible]

▲大連株式 [illegible]

▲奉天株式 [illegible]

▲仁川期米 [illegible]

新京市況

●特産現物
大豆 三、六〇 七車
高粱 [illegible]
包米 [illegible]
小豆 [illegible]

●特産先物
三月限 四、二〇
出來高 一車
四月限 四、二一
出來高 八車
五月限 四、四八
出來高 一車

●鈔錢先物
二月十三日限
國幣對鈔票 八八、四〇
出來高 一萬圓
十二月廿八日限
金票對鈔票 一三〇、〇五
出來高 三萬五千圓
二月十三日限
金票對鈔票 一三四、八〇
出來高 五萬圓

●鈔
金票對國幣 [illegible]
金票對鈔票 [illegible]
鈔票對國幣 [illegible]
現大洋對鈔票 [illegible]

手形交換（二十五日）
金票 一三三枚
鈔票 一〇枚
國幣 一三枚